

第6学年 道徳科学習指導案

児童 6年1組 21名
指導者 菊池 恵子

- 1 主題名 「友情を深める」 B [友情, 信頼]
教材名 言葉のおくりもの (東京書籍「道徳6年 新しいどうとく」P.91-95)

2 主題について

(1) 価値について

本単元における内容項目B「主として人との関わりに関すること」の「友情, 信頼」は「友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと」をねらいとしている。この内容項目は, 中学校では, 「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」に発展していく。

友達と良好な関係を築いていくためには, 互いに信頼し合う中で関わり合い, より深く相手を理解することが大切である。また, 異性に対しても相手を尊重しながら, ともに生活や学習することを通して, 互いに認め合い信頼感や友情を育んでいくことが必要であり, 同性の場合と同様に相手の人格を尊重することが根底にあると考える。本道徳的価値について学習をする中で, 互いを認め合い, 心を通わせて協力したり助け合ったりすることの大切さに気付かせていきたい。

(2) 児童について

この時期の児童は, 友達への関心が高まり, 仲のよい友達との関係をより深めていこうとする傾向がある。また, 好きなゲームやスポーツなど, 共通の趣味をもつ友達との関わりが深まり, 場合によっては特定の友達のみに関わりを好むことがあり, 気の合う友達が見つからない疎外感から, 友達との関係に悩みをもつこともある。また, 思春期に入るため, 異性への関心が高まり, 相手への感じ方や関わり方に変化が見られてくる時期であり, 微妙な心理に揺れ動く時期でもある。

本学級の児童は, 協調性があり, 互いに協力しながら学習や生活をしようとする児童が多い。その反面, 友達からどう思われるか気にし過ぎたり, それによって悩んだりする児童も多い。また, 自分本位に行動する児童がいることで, 男女間のもめごとが起こり, 異性に対する葛藤もある児童は少なくない。これまでの道徳の学習を通して, よりよい友情を築くためには, 「正直に自分の気持ちを相手に伝えることや, 相手の気持ちも理解すること」の大切さを考えてきている。しかし, 主観的な考えを優先させ, 相手の意見を受け入れられなかったり, 一方的に相手を非難したりする言動が未だに見られる児童もいる。

そこで, 本時の授業を通して, 相手を尊重する気持ちをもちながら, 互いを理解し, 助け合っていくことで友情を育み, 互いに高め合うような人間関係を築いていくことができることを理解させることが大切であると考え。

(3) 指導にあたって

本教材「言葉のおくりもの」は, すみ子と仲のよいところをたかしに見られ, 冷やかされた一郎が, すみ子との関わりを避けようとするが, すみ子は気にせずこれまでと同じように一郎に接していくという展開である。そんな中で開催された町内会の運動会。リレーでたかしは転倒し, チームは最下位になるが, 落ち込むたかしにすみ子は, 励ましの声をかける。そして, 一郎の誕生日にすみ子は, 素晴らしい言葉のおくりものをするという内容である。

誰にでも快活に接することができるすみ子と一郎やたかしの気持ちを考えることで, 男女を超えた友情のあり方を考えていくことができる教材である。

「気付く」段階では, 事前アンケートの結果から, 異性と協力することの大切さについての理解と実際の心情との差を自分事として課題を捉えさせる。

「深める・つかむ」段階では, たかしに自我関与して, 異性との友人関係をからかってしまう気持ちを考えさせるとともに, 冷やかしかからかいの根底にある心理にまで目を向けられるようにする。また, 一郎に自我関与して, 友人からかわれる不安から異性を遠ざけようとする気持ち

を考えさせる。さらに、すみ子の行動や発言を支えているものについて話し合い、すみ子がどんなことを大切にして行動しているかをワークシートに書き、話し合うことで価値へと迫りたい。

このように、三者の立場から心情を捉えたり言動を支えるものを考えたりすることで多面的・多角的に考えさせていく場としたい。

「見つめる」段階では、ねらいが「異性の友達に対しても相手を尊重し、協力し合いながら互いに高め合って生活しようとする態度を育てる。」ことから、今日の学習をこれからどんな場面でのように生かせると思うか問い、自分自身の実生活に目を向けさせたい。

「まとめる」の段階では、自分自身を振り返りながら教師の説話を聞き、異性を含めた友達と理解し合ったり協力し合ったりするよさを捉えられるようにしたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

異性の友達に対しても相手を尊重し、協力し合いながら互いに高め合って生活しようとする態度を育てる。

(2) 研究仮説の具現化に向けた手立て

①自我関与のさせ方の工夫

場面	ねらい	手立て
導入の場面で、事前アンケートの結果を提示し、課題を捉える場面	異性との協力の大切さを理解しているか、また、そのことと実際の心情との差の意識を捉え、自分事として課題を把握できるようにする。	・事前アンケートの活用
一郎がすみ子に「さっさと帰れ。」と言った時の心情を考える場面	一郎の周りの目を気にして異性を遠ざけようとする心情を考えさせる。	・板書による考えの可視化 (心情スケール)

②多面的・多角的に考えさせる場のあり方

場面	ねらい	手立て
たかし、一郎の心情を捉えた上で、すみ子の行動や発言を支えているもの考える場面	すみ子の性別にこだわらず相手のがんばりやよさを認めたり励ましたりすることのすばらしさに気付かせる。	・揺さぶる発問 ・ワークシート

③自分を振り返られる工夫

発問	ねらい	手立て
今日の学習をこれからどんな場面でどのように生かせると思いますか。これまでの自分を振り返りながら書きましょう。	本時の課題について、学習を通して考えたことを書くことで、異性と協力することのよさに気づき、今後に生かそうとする態度を育てる。	・ワークシート

(3) 展開

	学習内容と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (留意点○ 評価★)
導入 5分	1 アンケート結果を知り、友だちとの関わりを想起する。 ○「男子と女子が力を合わせて生活することが大切だと思いますか。」 ○友達と2人で係活動をする時の考え	・男子と女子が力を合わせることはやっぱり大切だ。 ・「同性と異性のどちらと組んでも構わない。」という人が多いけど、「同性と組みたい。」という人もいる。 ・自分とは、違う意見も分かる気がする。	○事前アンケートの結果から、男女が協力することは大切なことだけど、実現には、難しい時もあるという意識から課題につなげる。 [手立て1]
	異性と協力し、助け合うために大切なことは何だろう。		

展開前段	<p>深める つかむ</p> <p>30分</p>	<p>2 「言葉のおくりもの」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 本時の話し合いの方向性を確認する。</p> <p>○なぜ、あちこちから拍手が起こるような学級に変わったのだろう。</p> <p>(2) 二人をはやし立てたたかしの心情について話し合う。</p> <p>○たかしは、一郎とすみ子をどんな気持ちではやし立てたのでしょうか。</p> <p>(3) すみ子を避け、遠ざけようとする一郎の心情を考える。</p> <p>○植木鉢を片付け始めたすみ子に「よけいなことするな。さっさと帰れ。」と言った一郎はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>(3) すみ子の言葉のおくりものを聞いたクラスの変化について話し合う。</p> <p>○なぜ、教室のあちこちから拍手がおこったのでしょうか。</p> <p>(4) すみ子の行動や発言を支えるものについて話し合う。</p> <p>◎一郎やたかしを励ましたりお祝いの言葉をおくったりすることができるすみ子は、どんなことを大切にしているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは、一緒になって冷やかしたり周りは黙って見ていたりしているバラバラの学級だった。 ・からかったら面白そうだ。 ・仲がいいのが少しうらやましい。 ・本当は自分も仲よくしたい。 ・また見られたら、冷やかされるじゃないか。 ・恥ずかしい思いはしたくない。 ・優しい気持ちは嬉しいけれど、今は見られたくない。 ・また、男女が仲のいい学級にもどしたい。 ・すみ子さんのように友達に優しくしたい。 ・友達を大切にすることは大事。 ・相手への優しさ。 ・相手の良いところを認める。 ・困っている人への思いやり。 ・男子も女子も関係ない。 ・誰にでも平等に接する。 	<p>○教材を読む前に、簡単に登場人物の人物像を確認する。</p> <p>○異性との友人関係からかかってしまうたかしの気持ちを考えさせるとともに、冷やかしかからかいの根底にある心理にまで目を向けられるようにする。</p> <p>○友人からかわれる不安から異性を遠ざけようとする一郎の気持ちを捉えさせる。 (心情スケール) [手立て1]</p> <p>○たかしへの励ましの言葉をかけていることにも触れ、すみ子が男女関係なく接していることを把握できるようにする。</p> <p>★性別にこだわらず友情を深め、よりよい人間関係や集団をつくることの大切さを考えている。 (ワークシート・発表) [手立て2]</p>
展開後段	<p>見つめる</p> <p>8分</p>	<p>3 自分自身を見つめ、互いの意見を交流する。</p> <p>○今日の学習をこれからどんな場面でどのように生かせると思いますか。これまでの自分を振り返りながら書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男子とか女子とかと決めつけず、相手のよさを認める。 ・相手を理解しようとする気持ちを忘れない。 ・委員会、係活動や班活動などで男女で協力したい。 ・修学旅行や学習発表会等の行事で男女関係なく頑張りたい。 	<p>★学習を通して学んだことをこれからの友達との関わり方について自分なりに考えて記述している。 (ワークシート・発表) [手立て3]</p>
終末	<p>まとめる</p> <p>2分</p>	<p>4 まとめる</p> <p>自分自身を振り返りながら、これまで男女関係なく協力した場面を想起しながら話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、修学旅行、たてわり班活動などの写真を提示し、これまでの自分たちの関わり方のよさを捉えられるようにする。



18 言葉のおくりもの

月
日
組
番
名前

■〈考えよう①〉 一郎やかしを上げましたり、お祝いの「言葉のおくりもの」を送ったりすることが出来るすみ子は、どんなことを大切にしているのでしょうか。

■〈考えよう②〉 皆さんの生活の中で今日の学習をどんな場面でどのように生かせると思いますか。これまでの自分はどうかだったかをふり返りながら書きましょう。

■ 学習のふり返り *当てはまる☺に色をぬりましょう。

よく考えた。



別の考えに
気づいた。



自分を
ふり返った。

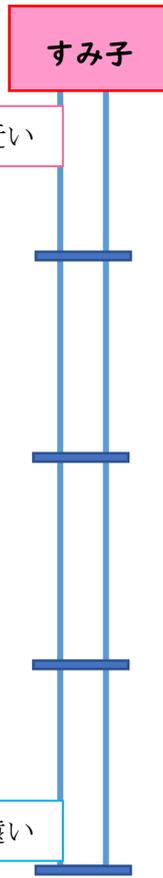




18 言葉のおくりもの

月
日
組
番
名前

■〈考えよう①〉 一郎の心はすみ子との距離がどれくらい離れたでしょう。印をつけましょう。



■〈考えよう②〉 一郎やたかしをあげましたり、お祝いの「言葉のおくりもの」を送ったりすることができずすみ子は、どんなことを大切にしているのでしょうか。

どんな時も変わらず、すみ子が大切にしているのは

■ 学習のふり返り *当てはまる😊に色をぬりましょう。

よく考えた。

別の考えに気づいた。

自分をふり返った。

■〈考えよう③〉 皆さんの生活の中で今日の学習をどんな場面でのように生かせると思いますか。今までの自分はどうかだったかをふり返りながら書きましょう。

今までの自分は、

今日学習したことを、



〈教材分析図〉

1 教材名 言葉のおくりもの (東京書籍)

2 ねらい 異性について理解し、互いに信頼し合って友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。

主な場面	たかしが一郎の消しゴムを拾ったすみ子に感謝の気持ちを表したことで冷やかす。	植木鉢を片付け始めたすみ子に「よけいなことするな。さっさと帰れ。」と一郎が言う。	たかしを励ましたり一郎の誕生日にすみ子も言葉のおくりものを贈ったりする。
心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・はやし立てたらおもしろそう。 ・仲がいいのは少しうらやましい。 ・本当は自分も仲良くしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・また、冷やかされるじゃないか。 ・他の人に見られたくない。 ・恥ずかしい思いをしたくない。 ・本当はお礼を言いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女関係なく、みんなを大切にしたい。 ・これから男女仲の良いクラスにしたい。 ・みんなで明るい学級をつくりたい。 ・友達のをさを認めている。
価値の関連			
気付かせたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・異性と仲良くすることを素直に認められず、冷やかしてしまうたかしの心情 	<ul style="list-style-type: none"> ・たかしや周りの目を気にしてすみ子を避けてしまう気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・すみ子の性別にこだわらず相手のがんばりやよさを認めたりはげましたりすることのすばらしさ
主な発問	○たかしは、一郎とすみ子をどんな気持ちではやし立てたのでしょうか。	○植木鉢を片付け始めたすみ子に「よけいなことするな。さっさと帰れ。」と言った一郎はどんな気持ちだったのでしょうか。	○一郎やたかしを励ましたりお祝いの言葉を送ったりすることができるすみ子は、どんなことを大切にしているのでしょうか。